



2025年1月14日

各 位

会社名 株式会社 オキサイド  
代表者名 代表取締役社長(COO 兼 CFO) 山本正幸  
(コード番号: 6521 東証グロース)  
問合せ先 総合企画本部マネージャー 石坂美保  
(TEL. 0551-26-0022)

### 営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年2月期第3四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年11月30日）において、営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 営業外費用（為替差損）の内容

当第3四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動に伴い、為替差損55百万円を計上いたしました。これは主に、海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えによるものであります。

#### 2. 特別損失（減損損失）の内容

当社の100%連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.（以下「Raicol社」といいます。）について、買収時に想定していた事業計画と実績との間に乖離が生じており、当初想定していた事業計画の達成が困難であると判断したことから、同社に係るのれん等の減損損失として2,715百万円を特別損失に計上いたしました。

乖離の主な原因は、イスラエル紛争以降、一部の顧客からの受注が低迷、イスラエルと一部の周辺国との貿易制限の発生、一部顧客におけるイスラエル製品に対するサプライチェーン懸念の高まりを受けた製品切替等であります。

イスラエル紛争による不透明感が拭えないため、Raicol社の今後の成長に関しては買収時より保守的に見込みます。しかしながら、Raicol社の技術及びノウハウは、依然として当社グループ全体の価値向上に寄与するものであり、買収時に掲げた事業領域（量子、宇宙・防衛、半導体）の拡張とクロスセルの強化という戦略方針に変更はございません。

また、半導体事業における不具合部材の評価減363百万円を特別損失として第4四半期に計上する見込みです。

### 3. 業績に与える影響

上記の営業外費用及び特別損失の計上並びに当第3四半期連結累計期間における業績動向等を勘案し、2024年4月15日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年1月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上